



指定名称 クロイワトカゲモドキ（県指定天然記念物）
所在地 地域を定めず指定
指定年月日 昭和53年11月9日

ク ロ イ ワ ト カ ゲ モ ド キ

トカゲのように見えるが、ヤモリの仲間である。ヤモリの仲間としては原始的な特徴を残すなど、生きた化石と呼ばれる貴重な動物である。

体長は15cmから18cm程で、背中にはピンク色のまだら模様や金粉をまぶしたような模様がある。生息している島によって模様などが違って、久米島にいるものは、クメトカゲモドキ（ヤマシナトカゲモドキ）と呼ばれている。

昼間は岩の割れ目や洞穴の中、石の

下などに住んでいて、夜に活動をする。繁殖期は、4月から8月でその間に2個の卵を2回以上産卵する。卵は秋にふ化し、親になるまで2年程かかる。沖縄島や慶良間諸島などの周辺離島に生息している。